

☆ 福祉用具・介護用品のレンタル ☆

何らかの事情で、特殊な寝台(ベッド)や車イス、歩行器や杖などが必要になる事がありますよね。

病院であればそういった用具は設備されていますが、退院してご自宅に帰る際に、一から揃えなくてはいけないのでは？と不安に思われる方も多いと思います。そんな福祉用具や介護用具に関して、介護認定(一部条件付き)を受けていれば、レンタル出来るのです。しかも、費用は月額のリENTAL料の1割で済みます。

例えば…



パラマウントベッドの楽匠S レギュラー2モータータイプ
販売価格¥375,000-ですが、レンタルなら月々¥16,000-
さらに介護保険適応なら1割の¥1,600-です。
(価格、レンタル料は販売店により異なります)

その他にこんなものもレンタルできます。



車イスや、歩行器、歩行杖、手すりなど、様々な介護用品をレンタルする事が出来ます。ご利用の際は、担当のケアマネジャーの方にケアプランを作成してもらい、レンタルを行っている業者さんへ連絡してください。

福祉用具は上手く利用することで、介護するかたも、されるかたも楽になります。ご存じなかった方はぜひご検討下さい。

☆ 夜間でも起こる熱中症！？ ☆

祇園祭と共に梅雨が明け、気温が30℃を超える日々が続いています。

暑くなるとよくニュースで聞かれるのが『熱中症』。これは、体温調節の機能障害や脱水、内臓の機能不全などが起こる症状です。具体的な症状としては、疲労感、めまい、失神、痙攣、嘔吐、意識障害、過呼吸などがありますが、重症の場合は命にかかわることもあります。

熱中症といえば日中の炎天下で起こると思われがちですが、実は夜間の屋内でも起こるのです。都会ではヒートアイランド現象により夜間でも気温が下がらず、屋内がサウナのような状態になることもあります。

さらには、体に悪いと誤解してエアコンを使わなかったり、防犯の観点から窓を閉めきって寝たり、トイレが近くなるからと水分を摂らなかつたり…熱中症になる条件は整ってきます。

熱中症を防ぐには、とにかくこまめに少量の水分補給をする事。喉が渇いた時点ですでに脱水に近い状態になっているとも言われています。また、体の熱を下げ、余分な水分を排出する働きがあるので適度に汗をかくのも必要です。ただし、汗をかくと体のミネラルも不足してしまうので、塩分や糖分も適度に補給するようにしましょう。

暑さは体力を消耗しますので、しっかりと睡眠をとって体を休めてやることで、熱中症や夏バテから身を守ることもできるはずですよ。



☆ ふれあい健康教室 ☆

8月のふれあい健康教室は28日です。

テーマは「お尻の病気～ちの外科的治療～」

担当は消化管センター 王子医師です。

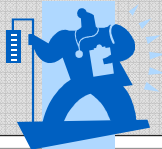
参加無料ですのでお誘い合わせの上ご参加下さい。



☆ 講師として伺います！！ ☆

自治会や老人会、婦人会などの地域の集まりで、健康をテーマとした研修会や勉強会を開催される場合、当院医師が講師として伺います。日時・場所・テーマなどのご希望をお聞きし、調整させていただきますので、地域連携室 鳥山までお声かけ下さい。

☎ 075-954-3136



新河端病院 理念

信頼と安心の医療

1. 患者様に感動をしていただける医療を実践します。
1. 患者様に選んでいただける病院づくりを実践します。

「患者さまの権利」

患者さまには次のような権利があります。私たちはその権利を尊重するような医療を行います。

- ・ 医療を受ける権利
- ・ 知る権利
- ・ 自分で決定する権利
- ・ プライバシーを守られる権利



医療法人 医修会 新河端病院

病院に対するご意見ご希望、また「ふれあい」へのご意見をお聞かせ下さい。(備え付けの意見箱をご利用下さい。)